



第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
平成30年12月25日
第391号

12月

施設長 井芹靖成



いよいよ今年最後のぎんなん便りになりましたので、再度顔を出ささせていただきました。今年も多くの方々にお世話になり無事1年をすごすことができました。ここに厚く御礼申し上げます。おかげ様で第二ぎんなん作業所の良さを無くさず、理念である利用者第一の作業所を続けることができました。本当にありがとうございました。

福祉サービス事業所もたくさんできて、いろいろなサービスが提供されるようになりました。また、その中から本人さん、保護者さんが選択し、自分に必要なサービスを選び、生活を作ることができる良い制度だと思います。ただ、そのサービスの基本に本人の思いや考えをどのようにくみとりサービスにつなげるかが大切に思います。特にコミュニケーションが苦手な方の思いをどう読み取るのが難しいと思います。コミュニケーション指導方法の一つにインリアルアプローチという方法があります。これは基本的にコミュニケーションの評価を本人の力を評価するのではなく、対応する人がコミュニケーション形成に適切な対応をしているのかという観点での評価をする方法です。その時に重要なのが「S（沈黙）・O（本人観察）・U（本人理解）・L（聞くこと）」の姿勢です。即ち静かに見守り、しっかりと観察し、本人を深く理解し、言っていること、言いたいことをよく聞く姿勢があるかという評価をするそうです。逆に言えば「S O U L」の姿勢で対応するとコミュニケ

ーションが高まるということだと思います。福祉サービスの基本、原点に必ず必要なことだと思います。それが保障されることで安心、安全な生活が実現し、生きる力、自信へとつながる気がします。日常生活全般でその姿勢を大切にしていきたいと思います。

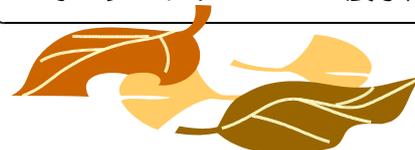
【熊福連フェアー】

12月14日（金）熊本県庁新館1階で熊本県福祉作業所連絡協議会のフェアーが開催されました。フェアーは県内の障がい者作業所で日頃から作っている製品や作品を展示し、多くの県民の皆さまに作業所のこと、障がい者のことを理解していただき、よりよい共生社会につながる事を願い開催されています。今年で19回目です。14日の初日には作業所のメンバーもオープニングに参加し、フェアーを楽しみました。オープニングでは県障がい支援課長さんのあいさつのもと、むたゆうじさんの楽しい歌で楽しみました。コンサートの後は昨年に引き続き今年もくまモンが登場し会場が賑やかになりました。第二ぎんなん作業所の利用者の方の中にはマイカメラでくまモンを何枚も撮影されている方もいらっしゃいました。また、第二ぎんなん作業所からも竹製品、サツマイモ、乾燥こんにやくを展示販売、紹介パネル展示をしました。昼食も県庁地下のレストランで各々好きなメニューを注文して食事を楽しみました。

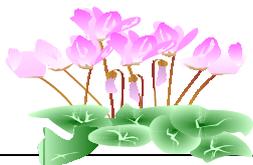


オープニング

展示販売



【注目の発達障害】



最近、テレビで「発達障害」についての番組がよく放映されるようになりました。以前は「発達障害」ということはさえ知らなかったり、間違えてとらえられていることが多々ありましたが、最近はいちんとした情報が伝えられ、理解が進んできたように思います。最近見た番組では「発達障害」の方の素晴らしい能力を積極的に認める会社が紹介されたりしていました。その会社では、発達障害の方の特性をきちんと理解し、それに合わせた支援、配慮をされていました。得意なところを活かし、苦手なところは配慮、支援することで力を発揮できるようにされていました。人は必ず得意、不得意があります。それが障害に基づくものであってもその障害の特性を補う支援があれば、障害を感じることなく生活ができます。いつも例えで話すことがあります。私は、視力障害があります。それは近視であり、乱視で有り、老眼？です。でもその障害を補う支援があります。それはめがねという支援です。めがねがあることで視力機能が補われ、差し障りのない普通の生活ができてます。もしめがねがなければ、車の免許もとれません。車の免許がなければ買い物も仕事にも行けません（交通の便が悪いところでは）生活の自立、移動の自立ができないのですがめがねという便利グッズのおかげで障害を感じることも、視力障害と認識されることもなく生活しています。発達障害の場合もその特性に合わせた便利グッズを用意すれば不自由なく生活ができるようになります。アメリカノースカロライナ大学を中心に開発されたTEACHプログラムは自閉症や関連するコミュニケーション障害の方への視覚的支援（苦手な聴覚情報を補う）でとても自立した、落ち着いた生活を実現されています。以前係わったことがあります。とてもいい支援です。また今度御紹介したいと思います。ほんとにいい支援グッズです。

【芋けんぴ】

先日収穫したサツマイモを使って、リフレッシュタイムの時間にサツマイモけんぴを作りました。短冊状に切ったサツマイモを油で揚げ、（意外と早く火が通りました）砂糖をまぶして出来上がりです。揚げたての熱々のお芋は最高でした。また、受託作業先からいただいた柚を絞って、それに砂糖を加えた柚ジュースも合わせて作りました。今年のサツマイモは去年に比べてとても大きなおいもが多く、焼き芋だけでなく、いも天や加工調理にも向いているおいもです。季節感たっぷりの調理活動でみなさん満足そうでした。



調理中



柚ジュース

【一泊旅行の作品できました】

11月に天草方面に一泊旅行にでかけました。五和町の「ガラス工房カリヒロ」という所でガラス細工の体験をしました。ガラスの土台に、色のついたガラスの小片を並べて作る作品です。その作品が焼き上がり、先日届けていただきました。仕上げはキーホルダー、箸置き、首飾り等の希望の仕上げをしていただきました。とても素晴らしく、可愛い作品ばかりで、ショップで販売されているものと代わり栄えない仕上がりでした。本当に旅のいい思い出の品になったようです。



キーホルダー



皆さん作品